

登別中学校 学校適正配置に関する地区別検討委員会
第10回教育環境部会 議事録

日時 令和4年12月14日（水）18時00分

会場 登別市婦人センター講堂（2F）

出席者 （委員）

飯尾委員、岡崎委員、勝間委員、日野委員、岸委員、斉藤委員、畠山委員
（事務局）

堀井部長、中島参与、近間総括主幹、蓬田主査

○部会長 時間となりましたので、これより「登別中学校 学校適正配置に関する地区別検討委員会」の第10回教育環境部会を開催いたします。

前回の会議では、前々回の議論を踏まえて、統合に向けた基本的条件として位置付ける6項目をお示しし、皆さんから理解を得たところでした。加えて、私の方から、統合前の事前交流事業だけではなく、部活動や学校行事の共同実施とか、学校間の交流事業の実施に関して、統合に関わらず検討していくことを条件付けたらどうかと提案し、これについても皆さんから理解を得たところでした。

また、基本的条件のうち「通学方法・通学手段」については、教育環境部会で最も良い方法を検討して、検討結果を具体的に条件に位置付けることとし、前回会議で、遠距離通学費補助とスクールバスのメリット、デメリットについて議論しましたが、結論には至りませんでしたので、本日引き続き議論したいと思えます。それでは「協議事項」の「校区拡大に向けた基本的条件について」、あらためて、事務局の方でまとめていますので、説明をよろしくお願いします。

○事務局 （事務局より資料に基づき説明）

○部会長 ありがとうございます。あらためて統合に向けた基本的条件に挙げる7項目に

ついて説明がありましたが、内容については、既に皆さんから了解いただいた内容となっております。この7項目を条件に位置付けるということによろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○部会長 それでは、統合に向けた基本的条件としては、この7項目を位置付けることにしたいと思います。続いて、「協議事項」の(2)に移ります。統合に向けた基本的条件のうち「通学方法・通学手段」に移ります。これについては、前回、遠距離通学費補助とスクールバス、それぞれのメリットとデメリットに関して、皆さんから多くの意見をいただきました。それらの意見を踏まえて、私と事務局で相談し、「通学方法・通学手段」をどのように条件に位置付けるか、あらためて打ち合わせをしてたたき台を作ってきましたので、そちらも事務局の方から説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○部会長 ありがとうございます。もう少し詳しく前回会議の話をしますと、部会員の皆さんの意見としては、スクールバスが良いのではというのが多数を占めておりましたが、委員から、路線バスを利用することで様々な社会経験を持つことができるという話もあり、少し部会員の皆さんの反応が変わった部分もあったのかなと思います。また、会議後にPTAの集まりがあって、保護者の皆さんと話す機会がありました。親としては、路線バスに乗り遅れた場合の対応などを気にしてしまうのですが、乗り遅れたなら1本バスを遅らせるとか、中学生として責任ある対応ができるだろうと。少し過保護な部分があるのかもしれないという話になりました。また、やはり当事者である子どもたちの状況を一番わかっている保護者の意見を広く聞いて決めるのが良いのではないかと。ただ、次のステージの協議体に丸投げということになれば、無責任な対応になってしまいますので、この部会では、遠距離通学費補助とスクールバスのメリット、デメリットを整理し、次

のステージの会議に結論は委ねるとするのがいいのかなと思ったところです。この内容に関して、皆さんから質問や意見はございますか？

○委員 前回会議は別の予定があり欠席したのですが、「通学方法・通学手段」について2点確認したいことがあります。現在も登別温泉及びカルルスから登別小学校へはスクールバスが運行されているわけですが、登別中学校と幌別中学校が統合となり、登別地区自体もスクールバスでの通学となった場合、スクールバスは何経路何便で運行されることになるのでしょうか。もう一点、仮に路線バスを利用することになった場合、現在はコロナ禍で外国人観光客は少ない状況が続いていますが、新型コロナウイルス流行前は、朝の通学時のバスも外国人観光客で非常に込み合う状況でした。仮に統合となった場合には、バスを利用する学生も増えるものと思いますが、確実にバスに乗ることができるのか懸念されるところです。そのあたりをどのように考えるのか。この2点についてお伺いします。

○部会長 事務局、お願いします。

○事務局 前回も少しご説明しましたが、スクールバスを運行する場合には、登別温泉・カルルス地区からの便と登別地区からの便は別経路で運行することになるかと考えております。登別温泉・カルルス地区からは新登別大橋を通過して幌別中学校に向かうルート、登別地区からは国道経由で富浦を通過して幌別中学校に向かうルートになり、登校時は利用生徒を運送可能な便数、下校時はそれぞれ授業終了後と部活動終了後に運行することになるかと思っております。次に2つ目の質問ですが、仮に遠距離通学費補助により路線バスを利用してもらうということになれば、道南バスとの間で、インバウンドの利用も含めて、利用が想定される便の混雑状況を確認し、必要な便数を運行するよう事前に調整することになるかと思っております。また、通学方法としては、遠距離通学費補助とスクールバス、いずれかになるわけですが、地区によって使い分ける場合もあろうかと思っております。例えば、登別地区については、遠距離通学費補助で路線バスを利用してもらう一方、登別温泉・カルルス地区はスクールバスというように、距離や運行便数を勘案し、

地区別に通学方法を分けるやり方もあろうかと思っております。仮に、登別温泉・カルルス地区からの通学をスクールバスとした場合には、委員ご指摘の懸念は解消されるのかなと思います。

○部会長 他にありませんか。それぞれの方法にメリットとデメリットがあるわけですが、実際にいずれの通学方法にするかについては、統合決定後の次のステージでの協議に委ねるということでよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○部会長 それでは、「通学方法・通学手段」については、部会で遠距離通学費補助とスクールバスのメリット、デメリットを整理した上で、統合決定後の次のステージの協議体で検討すること自体を条件にします。次に、「(3) 教育環境部会における議論のまとめ」についてですが、本日、統合に向けた基本的条件についても、部会員の皆さんから了解を得ました。その内容を反映し、教育環境部会としての結論をとりまとめることとなります。その内容について、事務局より説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○部会長 ありがとうございます。事務局より、「教育環境部会としての議論のまとめについて」説明がありました。内容については、今回の会議も含めて、すでに皆さんから了解を得ている内容だと思います。それで間違いないか、質問や意見はありませんか？

(異議なしの声あり)

○部会長 異議ないようですので、この内容で部会としての結論をまとめたいと思います。本日の議論でこの部会における結論をとりまとめることができました。後日、こ

の内容を今日来られていない部会員の皆さんにも郵送したいと思っています。

○部会長 それでは最後に会議次第3の「その他」について、事務局よりお願いします。

○事務局 いま部会長から説明がありましたとおり、今回の会議で、部会としての結論をとりまとめることができましたので、教育環境部会としては、本日の会議をもって終了ということになります。今後は、教育環境部会における議論のまとめと、もう一方の部会であります、まちづくり部会における議論のまとめ、この両者を、地区別検討委員会本体、親委員会に持ち上げまして、教育環境とまちづくりの両面から総合的な議論を行って、統合の是非に関して結論を出していくこととなります。ただ、まちづくり部会における議論は現在もまだ続いておりますので、それが終了次第、地区別検討委員会本体の会議を行うこととなります。地区別検討委員会本体の会議の日程につきましては、状況が整い次第、あらためて事務局から皆さんに書面にて連絡したいと思います。以上でございます。

○部会長 事務局より、今後の会議の日程などについて説明がありました。これに関して、質問などはありませんでしょうか？

(なしの声あり)

○部会長 教育環境部会としての議論はこれで終了となりますが、私としては、皆さんから様々な意見を聞くことができ良かったと思っています。皆さんと次に進む一歩を議論できたのも良かったと思っています。こうした議論がこの地区の子どもたちの未来に繋がると思いますので、なかなか大変な協議ではありましたが、ここまで続けた意味はあったと思っています。部会員の皆さんにおかれましては、お忙しい中、長期間にわたりご参加いただきありがとうございました。